

## 1. 背景

総合計画は、市が掲げる最上位のまちづくり指針です。

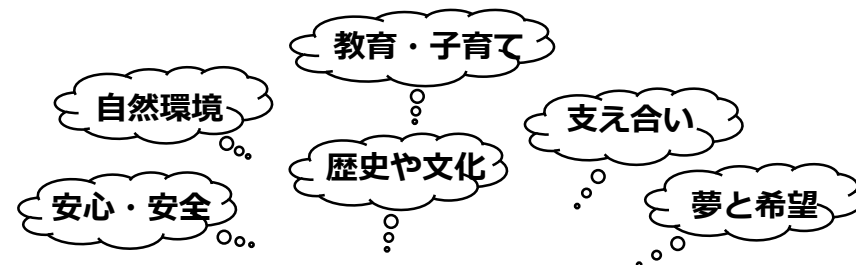
総合計画長期ビジョンに掲げる「めざすべき都市像」は、**まちづくりの長期的な方向性**を示すものであり、**行政だけでなく、市民や事業者が共有する「スローガン」**として位置づけられます。

また、現在市では、「令和8年度奥州市施政方針」に示すとおり、市政の主役は市民であり、「市民が納得して参画いただける市政」を標ぼうしているところです。

このことから、次期総合計画に掲げる「めざすべき都市像」は市民アンケート等を出発点に、市民ワークショップや市民投票を経て市民と行政が共創して策定するものです。

## 3. 「目指すべき都市像」事務局案の作成

事務局で市民アンケートの取りまとめ結果等を活用しながら、40 案程度を作成。庁内投票で得票数の高かった順に以下12案を採用し、市民ワークショップでの「たたき台」としました。



| No | 「目指すべき都市像」の事務局案                 |
|----|---------------------------------|
| 1  | 自然の恵み、学びの力、人の和で未来を紡ぐまち          |
| 2  | 清流がつなぐ実りの大地 四季の恵みと共に豊かに暮らすまち    |
| 3  | 水とみどりが暮らしを育て、文化がきらめくまち奥州        |
| 4  | 新しい価値をここから、奥州                   |
| 5  | みんなで えにし結び まちを磨き いのち育む ところおどる奥州 |
| 6  | 食と歴史を未来の力に。人が育ち、輝くまち 奥州         |
| 7  | 新たな価値をつくり続ける、伝統と教養のまち、奥州        |
| 8  | 挑戦する人を育む。豊かな大地と歴史のまち 奥州         |
| 9  | 人が育ち、人が育てるまち、奥州                 |
| 10 | 歴史を更新し続ける、人が育てるまち奥州             |
| 11 | 5つの風土が重なり、未来をひらくまち奥州市           |
| 12 | 豊かな大地に風が吹く、人が育てるまち、奥州           |

## 2. 決定プロセス

| フェーズ     | 内 容                                          |
|----------|----------------------------------------------|
| ①参考データ収集 | ・ 市民アンケート（R7.8月実施）<br>・ Webによる市民意見（R8.5月～6月） |
| ②候補作成    | 上記①を参考に庁内で40案を作成                             |
| ③庁内絞り込み  | 庁内アンケート等により12案に絞り込み                          |
| ④市民WS    | 40代までの市民約30名により、12案から6案を選択し、それぞれブラッシュアップ     |
| ⑤候補案決定   | 総計審により候補 6 案を決定（8月4日）                        |
| ⑥市民投票    | Webフォームなどで市民投票（自由意見も公募）                      |
| ⑦最終決定    | 投票結果をもとに総計審（11月16日）で正式採択                     |

## 4. 目指すべき都市像の候補

政策企画部政策企画課

市民ワークショップにおいて、各グループにおいて下記のとおり「目指すべき都市像案」を検討しました。  
第3次総合計画長期ビジョン当初案に次の6案を登載し、市民投票により市民の意見を伺います。

## &lt;1&gt;

**水とみどりをこれからも  
新しい価値をここから**

「水とみどりをこれからも」には、奥州市の普遍的な魅力である豊かな自然環境を、今後も大切に継承していくという強い意志を示しています。一方、「新しい価値をここから」では、その自然という土台の上に、現状維持に留まらず、革新的な挑戦によって新たな産業や文化をこの地から生み出し、未来へ前進していく決意を表しています。伝統の継承と未来への挑戦を両立させ、持続的に発展していくまちを目指す想いを込めています。

## &lt;2&gt;

**多世代が手を取りあい  
未来をつなぐ黄金色  
（こがねいろ）のまち奥州市**

「黄金色」は、豊かな実りの米、まちの発展、そして藤原文化に象徴される歴史と、合併した5つの地域の風土という、奥州市の持つ複数の豊かさを象徴する言葉です。「多世代が手を取りあい未来をつなぐ」には、子どもから高齢者まであらゆる世代が協力し、これらが築き上げてきた豊かな財産を、次の世代へ責任を持ってバトンタッチし、伝承していくという想いを込めています。

## &lt;3&gt;

**人が育ち、人が育てるまち  
奥州～「挑戦」と「協働」で  
「循環」が生まれる～**

まちの未来は市民の主体的な行動にかかっているという想いを込めています。市民一人ひとりが学び成長し（人が育つ）、その人々がまちを良くするために新たな「挑戦」を始め、互いに「協働」する。この主体的な活動が、まちを活性化させ次世代を育む「人が育てる」力となります。この「人が育つ→挑戦・協働→人が育てる」という好「循環」こそが、持続可能で活力ある奥州市を創り出すというビジョンを示しています。

## &lt;4&gt;

**地域の魅力がきらめき  
人が未来をひらくまち奥州市**

奥州市が誇る豊かな自然、歴史、文化といった「地域の魅力」を、市民が再認識し磨き上げることで、まち全体が活き活きと輝く姿への期待を込めています。そして、その魅力を原動力に、市民一人ひとりが主役となってまちづくりに参画し、自らの手で希望ある未来を創造していくという意志を示しています。地域の資源と人の力を両輪とし、持続可能なまちを目指す決意を表しています。

## &lt;5&gt;

**挑戦できる風土を育む。  
豊かな大地と歴史のまち奥州**

市民一人ひとりの、その人なりの一歩（挑戦）を暖かく育み、認め合える暖かい地域コミュニティ（つながり・和・輪）の土壌を作るという想いを込めています。また、「豊かな」を大地と歴史の両方に向け、先人から受け継いだ資産を守るだけでなく、未来の豊かな土壌や歴史を市民自ら築いていくという未来志向の意志も示しています。

## &lt;6&gt;

**つながりから価値と挑戦を  
磨くまち奥州**

多様な「つながり」をまちづくりの基盤とする想いを込めています。先人から受け継いだ歴史や文化などの「価値」を次世代へつなぎ、守り育てると同時に、市民誰もが安心して「挑戦」できる環境を整備。人々の交流から生まれる新たな価値創造や挑戦を促し、まち全体の魅力を継続的に高めて（磨き）いこうという未来への意思を示しています。